

4、協議内容

縣會議員選舉対策の件

城戸副會長より今回の縣議選に對し郡部一名、市部一名の候補を目的としてゐるが、適當なる候補者如何と縣聯合會の意見を問ふところあり、種々意見を交換したる結果、今回の立候補は未だ時機尚早として情勢を静観し農民に理解ある議員の選出に努め郡聯合會の統制を保つこととなつたのである。

而して浮羽郡より稻富校人の立候補は暗確定的に行邊勸資金の據出代表の派遣等各支部長か夫々意見を纏むることとなり、選舉対策委員としては郡聯合會主席藤野東三郎外四名を決定せり。

二、筑後部委員會

1、日 時 昭和十年八月三十日 午前八時

2、會 場 浮羽郡千年村 浮羽郡聯合會事務所

3、参加人員 會長稻富校人外聯合會各支部長等五十三名

4、協議内容

郡聯合會會長石井米作を議長とし、稻富校人より前報の如き是道會本部との交渉経過報告し、選舉対策委員として、會長（稻富）副會長（城戸）以下十二名を指名して、日農最大の選舉地盤たる浮羽郡に於ける縣議選対策の陣容を決定したのである。

而して更に九月一日には是道會浮羽支部の選舉対策委員會を開催することとし、且つ九月五日には浮羽郡青井町吉井劇場に是道會福岡縣聯合會秋季大會を開催し氣勢を揚ぐることとなつた。